

会 議 記 録 簿

件 名	令和5年度第2回恵庭市生涯学習推進協議会		
日 時	令和6年2月7日(水) 15:00～16:45	会 場	市民会館(第2会議室)
出席者	生涯学習推進協議会委員 松田会長、平井副会長、市橋、中田、高橋、結城、井上 大嶋(亮)、大嶋(昭)、岡 市教委 狩野部長、大嶋次長 <社会教育課>黒氏課長、津田主査、田中、大谷	人 数	委員 10名 市教委 6名 計 16名
概 要			
<p>1. 開 会</p> <p>2. 挨拶</p> <p style="margin-left: 20px;">恵庭市生涯学習推進協議会 会 長 松田 一則</p> <p style="margin-left: 20px;">恵庭市教育委員会 部 長 狩野 洋一</p> <p>3. 【議題】</p> <p>(1) 【協議事項】 令和5年度「かつてに表彰」推薦団体・個人について ～事務局より説明～</p> <p style="margin-left: 40px;">～議題：令和5年度「かつてに表彰」推薦団体・個人について承認～</p> <p>(2) 【意見交換】 第5期恵庭市生涯学習基本計画 令和5年度委員評価について ～事務局より説明～ ～各委員による意見交換～ ～各グループ発表～</p> <p>発表内容(記載内容)</p> <p style="margin-left: 20px;">(チーム1) 大嶋(昭)、市橋、高橋、平井、大嶋(亮)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食の体験ランド」 →時期を分けて2～3回あれば…。子どもたちがもっと畑にふれることができれば…。文教大学付属高校なども一緒にできれば…。 ・「家庭教育支援事業」 →もっと大規模でコミュニティの核になる人材の育成。市P連との連携等。 ・「ふるさと散歩見学会」 →後継者不足。文教大など学生が関わる事ができれば、今参加されている世代よりも下の世代の興味関心を引くことが出来るのではないかと。 ・「朝読・家読事業」 →本をまったく読まない子をどうするかを考える必要がある。図書ボランティアをかつてに表彰にどんどん推薦しては…。 ・「えにわん産業祭」 →参加して欲しい対象の世代が定まっていないのではないかと。本当は親子連れで楽しめた方がよい。子どもが遊びながら、楽しめるイベントにしてはどうか。駐車場問題あり。 			

- ・「恵庭分館の一部無人開館(カードレスIC化)」
→年々充実。とても便利。借りるのもスムーズ。ロッカー受け取り早朝対応求む。クロームブックからの予約も。
- ・「食育推進事業」
→みそ作りあれば良いが、人材、後継ぎが必要。
- ・「歩くことを通したまちづくり」
→同じ人が何度も水をもらいに来る。

〈チーム2〉松田、結城、中田、井上、岡

- ・「工作体験教室」
→取組としては良いが、目標やゴールが抽象的。工作することが目的か、公園を利用してもらうことが目的か。公園を利用してもらうのであれば、自然やふるさと意識を色濃くすべき。
- ・「コミスクかふえ」
→こちらも取組としては良いが、目標やゴールが抽象的。交流の次の段階へ行きたいが、内容は交流のまま。
- ・「図書館開館24時事業」
→取組は良いが内容はマンネリ化。ただマンネリ化が悪いことではなく、そこを突き抜けた取り組みをしていくとブランディングにつながる。図書館になじみのない人をどう呼び寄せるかは課題。
- ・「えにわ芸術文化宅配事業」
→市民と作者の接点を設けることや、作者が作品を展示する場所の相談をできると良い。
- ・「えにわ市民文化祭」
→島松公民館は盛り上がっていたが、市民会館は文教大イベントと日程がかぶっており、夢創館は見た限り来場者ゼロだった。企画調整にもう少し工夫が必要。
- ・「長寿大学」
→後期高齢者が多いとのことだが、中身が前期高齢者には合っているのか、ニーズの検証が必要。卒業後に地域参画したいと声があればフォローする仕組みが必要。

4. その他

- ・第3回恵庭市生涯学習推進協議会 3月11日(月) 14:00～ 市民会館中ホール予定

5. 閉会

以上

会議の様子

